

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修（指導者研修））の開催の詳細

開催日	平成30年5月29日（火）－30日（水）
内容	基礎研修プログラム、および都道府県研修の企画・運営に関する情報の提供
対象者	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の企画・運営を担う予定の者で、 都道府県が推薦する者
募集人数	各都道府県から 2名
参加費	3,000円（資料代+「強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】受講者用テキスト」代） ※ 上記テキスト不要の方は、参加費は2,000円となります。 ※ 受講決定通知と一緒に、払込取扱票を同封いたします。郵便局にて、参加費の払込をお願いします（払込期日、5月18日（金））。
申込方法	推薦者を都道府県でお取りまとめいただき、別紙申込書をFAXでお送りください。
申込期日	平成30年4月20日（金）必着
会場	国立障害者リハビリテーションセンター学院 6F（埼玉県所沢市並木4丁目1番地）



アクセス 西武新宿線「航空公園」駅より徒歩15分、「新所沢」駅より徒歩15分

その他 宿泊先・昼食の手配は各自でお願いします

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2102番地2

【お問い合わせ先】 FAX：027-320-1368 事業企画部（担当：新井・浅田）

TEL：027-320-1357 E-mail：nozomi-kensyu-01@nozomi.go.jp

平成30年度

強度行動障害支援者
養成研修(基礎研修)

指導者研修

この研修は、都道府県地域生活支援事業で実施する強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)の企画・開催・運営を担う人を養成するための研修です。

開催日 平成30年5月29日(火) - 30日(水)

会場 国立障害者リハビリテーションセンター学院 6F

主催 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）とは

平成27年3月6日の障害保健福祉関係主管課長会議資料の中の「強度行動障害支援者養成研修の実施について」で、次のように明記されています。

強度行動障害を有する者は、自傷、異食、他害など、生活環境への著しい不適応行動を頻回に示すため、支援が困難であり虐待につながる可能性が高い。しかし、適切な支援により状態の改善が見込まれることから、専門的な研修により適切な支援を行う従事者を養成することが重要である。

このため、平成25年度に、強度行動障害を有する者に対する支援を適切に行う者を養成する「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」を創設したところである。

のぞみの園が開催する指導者研修とは

都道府県が平成25年度以降に地域生活支援事業で実施する「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）」の企画・開催・運営を担う人を養成するための研修です。「強度行動障害支援者養成研修（基礎研修（指導者研修）」では、基礎研修の企画・開催・運営する際のノウハウ、事務局の役割等についてお伝えする他、基礎研修と同様のプログラムを受講していただく予定です。

また、指導者研修開催中および終了後も、都道府県研修の準備に関する相談受付を行い、継続的なフォローアップを実施しています。

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）プログラム

以下のカリキュラムに沿って、指導者研修のプログラムは作成されています。

科目名	時間	内容		対応	
I 講義	6				
1 強度行動障害がある者の基本的理解	2.5	①強度行動障害とは	本研修の対象となる行動障害 強度行動障害支援の歴史的な流れ 行動障害と家族の生活の理解	強度行動障害の定義 知的障害／自閉症／精神障害とは 危機管理・緊急時の対応	I-①
		②強度行動障害と医療	強度行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携	強度行動障害と精神科の診断	I-②
	3.5	③強度行動障害の制度	自立支援給付と行動障害 他		I-③
		④構造化	構造化の考え方 構造化に基づく支援のアイデア	構造化の基本と手法	I-④
		⑤支援の基本的な枠組みと記録	支援の基本的な枠組み アセスメント票と支援の手順書の理解	支援の基本的なプロセス 記録方法とチーム®レいで仕事をする大切さ	I-⑤
		⑥虐待防止と身体拘束	虐待防止法と身体拘束について	強度行動障害と虐待	I-⑥
		⑦実践報告	成人期における支援の実際	児童期における支援の実際	I-⑦
II 演習	6				
1 基本的な情報収集と記録等の共有	1	①情報収集とチームプレイの基本	情報の入手とその方法	記録とそのまとめ方と情報共有・アセスメント	II-①
2 行動障害がある者のコミュニケーションの理解	2.5	②固有のコミュニケーション	様々なコミュニケーション方法 グループ討議／まとめ	コミュニケーションの理解と表出	II-②
3 行動障害の背景にある特性の理解	2.5	③行動障害の背景にあるもの	感覚・知覚の特異性と障害特性 グループ討議／まとめ	行動障害を理解する氷山モデル	II-③

P R O G R A M

5月29日（火） 10:00-18:00

9:30-10:00		受付		
10:00-	10	開会		
10:10-	15	研修の意図と期待すること	・基礎研修（指導者研修）の位置づけ	
10:25-	60	オリエンテーション	・情報の入手とその方法 ・記録とそのまとめ方、情報共有 他	Ⅱ-①
11:25-	35	強度行動障害とは	・本研修の対象となる行動障害 ・強度行動障害の定義 他	I-①
12:00-	50	休憩		
12:50-	60	強度行動障害の基本的な理解	・行動障害と家族の生活の理解 他	I-①
13:50-	150	強度行動障害とコミュニケーション	・様々なコミュニケーション方法 ・コミュニケーションの理解と表出 他	Ⅱ-②
16:20-	30	制度の理解	・基本的な制度の理解 ・行動障害がある方へのサービス 他	I-③
16:50-	50	強度行動障害と虐待防止	・虐待防止法と身体拘束について ・強度行動障害と虐待 他	I-⑥
17:40-	20	支援の基本的な枠組み	・記録とチームプレイで仕事をする大切さ ・支援の基本的なプロセス 他	I-⑤

5月30日（水） 9:30-16:10

9:30-	150	行動の背景と捉え方	・行動障害を理解する冰山モデル ・感覚・知覚の特異性と障害特性 他	Ⅱ-③
12:00-	45	休憩	ランチミーティング (都道府県研修についてのQ&A)	
12:45-	15	本研修の役割と展望	・目的とポイントの再確認	
13:00-	60	強度行動障害と医療	・強度行動障害と医療的アプローチ ・福祉と医療の連携 他	I-②
14:00-	60	構造化の基礎	・構造化の考え方 ・構造化の基本と手法 他	I-④
15:00-	60	実践報告	・記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ ・支援の基本的な枠組み 他	I-⑦
16:00-	10	閉会		